

B88-Reference

Active Studio Subwoofer

MADE IN GERMANY

KS digital B88-ReferenceはC-Referenceシリーズや他のメーカーのモニター用のベースエクステンションとして開発されました。

2台のパワー・アンプと連動した統合デジタル信号処理により、既存のモニター・システムを最低オクターブまで拡張します。2台の250W PWM/パワー・アンプは、2台の高性能8インチ・シャーシ上でDSP制御により動作します。



〈C-Reference用のベースマネジメント〉

サテライト・モニターは2系統のXLR出力で接続され、80Hz以上の信号が適切にソフト化されて供給される。これにより、ブーミングやポンピングのない、コントロールされたパワフルな低音再生が実現し、ストレスのないディテール豊かなサウンドが得られます。デジタル・シグナル・プロセッサが周波数特性をリニアにし、内部フィルターが部屋や用途に合わせた微調整を可能にします。アンプで直接調整可能なディレイは、B88 Referenceとサテライト間の空間的なオフセットを補正します。フローに最適化されたスチール製ハウジングに収められた特殊な高性能ドライバーは、非常にコントロールされた「ドライ」な低音信号を生成し、通常の換気ノイズを発生させることなくサブエンドを完全にコントロールします。

〈特許技術 FIRテクノロジー〉



FIRTEC(有限インパルス応答テクノロジー)はすべてのKSDラウドスピーカーに採用されています。この技術により、音楽信号が正しい時間、位相、音色で再生されることを保証します。内蔵DSPはシャーシ、エレクトロニクス、キャビネット形状など、ラウドスピーカーの物理モデルを実行します。モデルのパラメータは、シャーシ、エレクトロニクス、アンプなどの使用部品の公差や、キャビネットのエッジの音響現象まで考慮し、実際のラウドスピーカーの測定によって生成されます。

FIRTECフィルタリング技術によるFPGAベースの信号処理の最大の特徴は、振幅周波数特性だけでなく、位相特性もリニアライズすることです。

つまり、FIRTECプロセスでは、音楽を正しい時間構造のまま再生します。

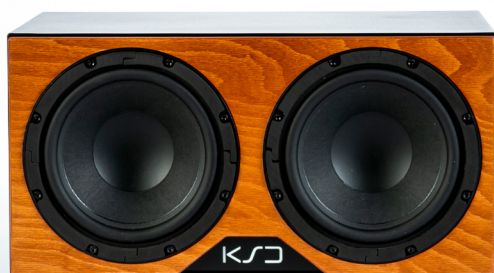
〈専用リモコンKSD-RC (別売)〉

B88-ReferenceはオプションのKSD-RCリモコンを使用することで6つのパラメトリックフィルター、ディレイ、ゲインなどをリスニングポジションから簡単に調整できます。

さらに、KSD-RCのロータリー・コントロールにより、セットアップ・スピーカーのマスター・ボリュームを簡単に調整することができます。これは、外部プリアンプを使用せずにスピーカーの音量をコントロールしたい場合に特に便利です。



B88-Referenceはフロントパネルをチェリーウッド/ブラックの2種類から選択することができます。



Cherry



Black



SPECIFICATIONS

デジタル信号処理	モノサブウーファー & EQ
レイテンシ(A-D-Aリニアフェイズ)	3 ms
入力	アナログXLR - バランス入力 +4dB(V)
入力インピーダンス	20 k Ω
最大出力レベル	115 dB SPL (1m)
クロスオーバー周波数	80 Hz
スピーカーユニット	2×8 inch ベースドライバー
内蔵アンプ	250 W / 250 W ピーク
最大出力	350 W
オンボードコントロール	レベル, ディレイ
KSD-RC(別売)(有線接続)	ルームイコライゼーション, ベースレベルの微調整, 音量調整
周波数帯域	28 – 80 Hz
電源	115 V AC
アイドル時消費電力	12 W
外形寸法 (W×H×D)	480 x 240 x 310 mm
重量	28 kg
テーブルスタンド	付属なし (特注可)